

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	文京区放課後等デイサービスロード		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48 (回答者数)	31
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもが安心して通所し、楽しみにできる環境が整っている点	一人ひとりの特性や状況に応じた丁寧な関わりと、安心して過ごせる環境づくりを継続しています。	支援内容の共有や振り返りを通して支援の質の向上と均一化を図り、より安定した支援提供につなげていきます。
2	個別性に配慮した支援および環境設定が行われている点	アセスメントや日々の観察をもとに、個別活動と集団活動を組み合わせた支援を行っています。	安全面や環境面の見直しを継続し、多様なニーズに対応できる支援体制の充実を図っていきます。
3	保護者との信頼関係の構築と情報共有が安定している点	連絡帳や面談等を通じて日々の様子を丁寧に共有し、共通理解の形成に努めています。	活動内容や支援の様子について、より分かりやすく伝わるよう情報発信の工夫を行っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容や取組の伝わりやすさに関する点	日々の支援は実施されているものの、その内容が十分に伝わりきっていない部分があると考えています。	活動の様子やプログラム内容について、発信方法や機会を工夫し、より見やすい形での情報提供に取り組みます。
2	非常時対応や安全に関する取組の周知に関する点	各種マニュアルや訓練の実施状況について、保護者への周知が十分でない部分があると考えています。	訓練実施の報告や資料配布等を通じて、安全に関する取組を分かりやすくお伝えしていきます。
3	支援内容や業務の共有体制に関する点	日々の振り返りや記録の活用について、共有のあり方に差が生じる場面があると考えています。	職員間の情報共有や振り返りの機会を充実させ、チームとしての支援の質向上を図っていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日				回収数			
文京区放課後等デイサービスロード		2026年4月10日				利用児童数	47	回収数	31
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
		環境・体制整備	1	30	0			0	1
2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	1	0	5	・いつも、丁寧に接していただいている。 ・顔を隠すなどして活動風景がうかがえる写真が見れる機会があると嬉しい。	・活動の様子がより伝わるよう、写真の共有方法や機会について個人情報に配慮しながら検討していきます。		
3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	29	0	0	2	・個室があり、目的に合わせて利用できる。			
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31	0	0	0	・清潔感があり、心地よく過ごせている。 ・休憩したい時に休める空間があり助かる。			
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	29	0	0	2	・子どもに寄り添った対応をしてもらっている。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	30	1	0	0			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31	0	0	0	・しっかりと面談の時間を取ってもらい、こちらの希望もよく聞き取ってもらっている。		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30	0	0	1			
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	28	2	0	1			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	26	2	0	3	・おやつ作りなど、子どもの意見を取り入れ工夫されていると思う。 ・内容にもよるが、ある程度の固定化は、子供にとっては活動しやすさにつながることもあり、必ずしも悪いことではないと思う。	・引き続き、活動の幅を広げながら、安心して取り組める適度な継続性とのバランスを意識してプログラムを工夫していきます。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10	1	1	19	・特にそのような機会は求めない。	・地域交流についてはご意向を踏まえつつ、必要に応じて機会の提供を検討していきます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31	0	0	0			
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31	0	0	0			
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	13	2	1	15	・家族の困りごとにも対応してもらっている。		
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	31	0	0	0	・連絡帳を通して共有している。		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2	0	0	・面談の頻度を多くしてもらえると嬉しい。 ・必要時に随時面談してもらっている。	・面談の機会についてはご希望に応じて柔軟に設定し、より相談しやすい体制づくりに努めてまいります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	29	0	0	2	・話を聞いてもらい、アドバイスももらっている。 ・子どものことをよく理解してもらっている。		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	5	9	7	8	・保護者同士の交流は特に必要としません。	・保護者同士の交流についてはニーズを踏まえ、希望される方に配慮した形で機会のあり方を検討していきます。	
19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	1	1	3	・親子共々、相談に乗ってもらっている。 ・これだけの文字数が一文で書いてあり理解しにくい。また同じような質問が複数あると段々疲れてきてしまうので、具体例などあげて分かりやすくまとめてほしい。			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	31	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	18	7	0	6	・イベントの案内等もっている。 ・プログラムを見る事ができる機会があると嬉しい。	・活動内容やプログラムがより分かりやすく伝わるよう、情報発信の方法の検討をしています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29	0	0	2		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	2	0	10	・周知はされているが、訓練はされてるかどうかはわからない。	・各種マニュアルや訓練の実施状況について、より分かりやすく周知できるよう検討していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	2	13		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	1	1	6		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	24	1	1	5	・怪我も事故もないので、説明される機会はないが、いつも誠実に対応してもらっているのできつと機会があった場合は説明してもらえと思う。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31	0	0	0	・いつも子どもがリラックスして帰ってくるので安心していると思う。 ・常に柔軟な対応をしてくださり本当に感謝している。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31	0	0	0	・自分の居場所としてすごく楽しく通っている。 ・とても楽しいと言っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	31	0	0	0	・私の心配事を受け止め、子どもの様子を注意深く見て報告してもらい、親子共々安心して頼っています。 ・感謝しています。学習面の支援も望むので、希望者のみ公文をしてほしい。ご検討お願いします。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		文京区放課後等デイサービスロード				公表日	2026年4月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	1			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	2		・女性職員は手持ち無沙汰になる瞬間があるほど多い反面、男性職員が少ないと感じる。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	1		・今後、他の子の介入を気にせず遊べる空間が必要になってくるのではないかと感じる。 ・職員や利用者含めて、机の角に足などが当たってしまうことがある。角ガードが必要。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10	0			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	1			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	1			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	1			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	1			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	1			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	2		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	1		・終礼は必ず実施されているが、振り返りや気付きの共有は正社員だけで対応しているように感じる
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1		・日々の記録を活用している状況を知らない。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	10	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	2		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	4		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	4		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	6		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	1		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	9	1		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	1		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	1		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8	2		